

私の留学体験記

広島県立呉三津田高等学校 2年 松若 秀悟（まつわか しゅうご）

留学期間 令和6年3月18日 ～ 令和6年3月29日（12日間）

留学先 Corona del Mar High School (Newport Beach, America California)

私は高校2年生の修学旅行でシンガポールに行った後、もっと海外に行って現地で英語を勉強してみたいと強く思うようになりました。そこで、コロナデルマーハイスクールへの留学生募集の話を聞き、思い切って挑戦しようと思いました。

留学が決まってから出発まで1ヶ月もない中、現地の人と上手くやっていけるかという不安と初めての場所で初めての体験ができるという期待で胸が高鳴っていました。向こうの人とコミュニケーションが取れるかどうかとても大きな不安の中、ステイ先の情報をいただきホストファミリーにメールを送ることになりました。英語でメールを書くことは初めてでネットで調べ丁寧に作成し、ドキドキしながら送りました。すると、すぐに返信があり、そこから出発まで7往復ほど連絡し合いました。お互いのことを聞き、知ることができました。出発時には不安なことは少しもなく、早くホストファミリーに会って話がしたいと思うようになっていました。

長いフライトを経て、ホストファミリーの子と対面すると、とても嬉しくてフライトの疲れは吹っ飛びました。家に招待されホストファミリーと一緒に夕食を食べました。家族とはアニメやバスケットボールの話で盛り上がりました。英語を聞き取ることは難しかったけど、聞き返すとわかりやすく言ってくれたり、ゆっくり言ったりしてくれました。なんとか理解しようとするのが大切だと思いました。夕食の後はジムに行き、ホストファミリーの子と一緒にトレーニングをしたり、バスケをしたりして仲良くなりました。ジムでは、ホストファミリーの子が初対面の人に声をかけてバスケや学校の話をしていました。日本ではあまり見られない光景で、コミュニケーションがとても活発なことに驚きました。

翌日から学校に通いました。授業を英語で理解できるかどうかとても心配でした。案の定、先生の説明から英語を理解することはとても難しかったです。ですが、スライドやテキストの補足説明と照らし合わせると少しずつ理解できるようになりました。内容は日本で習うようなことと似ていましたが、授業形態は大きく異なっていました。生徒は活発に発言し、アクティブに作業をしていました。私にとってとても新鮮で楽しかったです。休憩時間は友達との会話で盛り上がりました。ホストファミリーの子が友達に私のことを紹介してくれて、とても仲良くしてくれました。現地での学校生活はとても楽しかったです。

街中でもさまざまな場所に訪れたり、たくさんの美味しい食べ物を食べたりなど強い刺激を受けることができ、たくさんの価値観を知ることができました。この留学を通して特に学んだことは、人のあたたかさやコミュニケーションの大切さです。やはりどこの国においても人との関わりは大切で、特にアメリカは人との繋がりがとても強いと感じました。

また、人々はその時々感情を全面で表現し、みんなと共有しているようにも見えました。このようなことから、現地の人々はそれぞれの生活を全力で楽しんでいると感じました。

今回の留学はとても短く感じたので、また長期の留学の機会があれば進んで参加したいです。今回の留学で現地の文化や人々について知れたので、次回はより親密に人々とコミュニケーションが取れるようにしたいです。